

社会生活と健康について調べよう

～ 資料を探して調べ、意見をまとめる ～

2年 保健
「社会生活と健康」
資料の活用(情報活用)



- 各々のテーマからキーワードを選び、それに合った資料を検索し、探することができる。
- 資料の探し方や図書館の利用方法を知る。
- 資料を用いて内容をワークシートにまとめ、発表することができる。

学習展開

- ① 教科担当教員は、授業の概要を説明、9つのテーマ①「大気汚染と健康」、②「水質汚濁・土壌汚染と健康」、③「健康被害の防止と環境対策」、④「環境衛生活動のしくみと動き」、⑤「食品衛生活動のしくみと働き」、⑥「食品と環境の保健と私たち」、⑦「働くことと健康」、⑧「労働災害と健康」、⑨「健康的な職業生活」からキーワード（①の例、地球温暖化、温室効果ガス、オゾン層、黄砂など）を決定させる。
- ② 司書教諭・学校司書は、図書館活用方法（資料の探し方、図書館の利用方法）、参考文献の書き方などを説明する。
- ③ 生徒は、それぞれのキーワードをもとに、資料を2冊を決定し、キーワードの内容を調べる。
- ④ 生徒は、調べた内容をA4用紙にまとめ、発表する。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教科担当教員と相談して、生徒が使用する資料の準備などを行う（県立図書館などと連携し資料を準備）。
- 司書教諭・学校司書は、図書館活用方法や参考文献の書き方などを説明する。
- 司書教諭・学校司書は、生徒の本の検索や調べる活動をT2・T3として支援する。



生徒の発表資料

★指導のポイント

- ◆ 分類番号と館内の書架配置、パソコン検索の方法なども紹介し、生徒がスムーズに資料検索ができるよう工夫する。
- ◆ 資料を複数準備する。文具類など必要な物品も準備する。
- ◆ ワークシートに、参考文献を記入する欄を設ける。
- ◆ ホワイトボードを活用し、指示が分かりやすいよう工夫する。

資料 「もっと知りたいPM2.5の科学」「トコトンやさしい土壌汚染の本」（日刊工業新聞社）、
「水の日本地図」（朝日新聞出版）ほか、館内蔵書約100冊。
「誰でもわかる！！日本の産業廃棄物」（大成出版社）ほか、県立図書館より約200冊。